

日本教育福祉学会 研究部会(第3回RC) 報告会

以下の通り、RC-1「創造的教育＝福祉＝人間研究部会」の本年の第1回目となる報告会を開催いたします。

日 時：2016年(平成28年)7月29日(金)13時～16時

場 所：東京都立王子総合高等学校大会議室

参加費：無料

第1報告:「トマ・ピケティ著「21世紀の資本」を読んで—公民科教育との関連を踏まえて—」

発表者：町田紳(東京都立王子総合高等学校)

概 要： “ピケティ著「21世紀の資本」を読み、経済データの読み取りを通じて経済的格差から教育と福祉について考える。日本の独自の経済的格差と貧困について、多元的多面的に考察し、格差と貧困は、経済的なものだけではなく、文化的貧困、社会からの強い疎外感、人間間の心の断絶、心の達成感・成功体験の喪失など文化・精神の面での貧困を取り上げる。格差と貧困は時代性を抜きにして考えることはできない。

日本においては、高度経済成長による1億総中流社会は過去のものになり、現在は、グローバル化のもとで、金融経済の進展、非正規雇用の急激な増大、ITと人工知能の進化により、格差と貧困は従前にはない状況に達している。この世界的な歴史的社会的潮流について考察することは重要であり、多元的な歴史的視点が要請される。上記の経済社会的事象をマクロ的歴史的に考察するアプローチだけでなく、日本の教育と福祉の次世代のあるべき姿に関して、格差と貧困の実態から巨視的にだけでなく、ミクロ的・等身大で論考する。

第2報告:「教育福祉論への学校現場からの提言」

発表者 黒須伸之 東京都立大森高等学校(定)

坂口克彦(東京都立豊多摩高等学校)

概 要： 「教育福祉」というコンセプトは、グローバル化が進み同時に、経済的な側面ばかりではなく、さまざまな側面で格差化が進む現代社会において、極めて重要な意義を持つに至っている。次世代が健やかに育っていくためには、教育による社会化が必要であり、そのあり方は福祉の理念に依拠することが、求められる。教育の現場から見た、次世代育成のための「教科からの提案」と「政策的必要性」について取り上げる。

東京都立王子総合高等学校へのアクセス

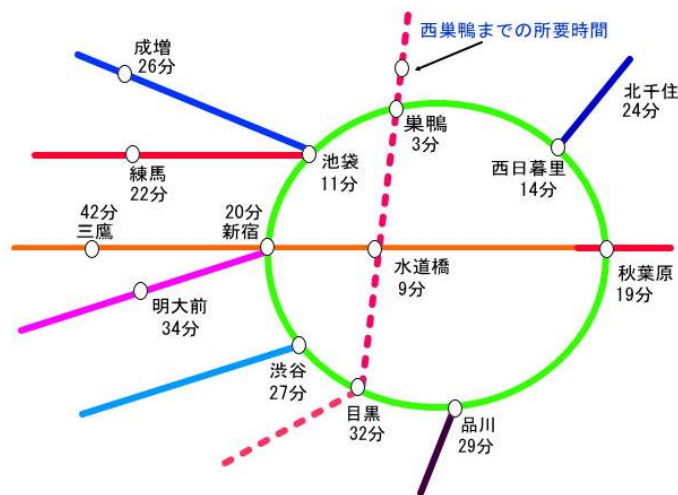
都営三田線「西巢鴨」駅下車 徒歩 6分

都電荒川線「西ヶ原 4 丁目」駅下車 徒歩 4分

JR 京浜東北線・地下鉄メトロ南北線「王子」駅下車 徒歩 13分



交通アクセス



日本教育福祉学会 事務局

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196

文京学院大学ふじみ野キャンパス 柄田研究室内

<http://jsew.sakura.ne.jp>

nihonkyouikufukushi@outlook.jp (担当：黒須)